

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

再生・新生・共生

高田ロータリークラブ  
今年のスローガン

ロータリーを楽しもう！  
夢と誇りをもって



2022-2023年度

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ  
第2560地区ガバナー 高橋 秀樹  
高田ロータリー会長 高橋 正彦  
幹事 飯塚 宏佳

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッツ TEL(025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：  
伴 長門・齋藤俊幸・藤林陽三・出澤英則

第 34 回 5 月 19 日(金)

No.34

会長挨拶 ●高橋正彦



皆さんこんにちは。

先週の土日に、米沢上杉ロータリークラブ 60 周年式典に参加してまいりました。大変なる熱烈歓迎を受けてまいりました。3 年後の我がクラブの 70 周年は、接待をするだけで大変だなあと感じました。

ここ二日ほど暑い日が続きましたが、体調の方はいかがでしたでしょうか。この夏にかけて「エルニーニョ現象」が発生する可能性が高いと言われていています。エルニーニョは世界中の異常な天候の要因の一つとされて世界的に高温になり豪雨災害・干ばつなど、世界各国で異常気象が起きる可能性があると言われていています。日本への影響については、一般的には、夏の気温が低くなるとされていますが、今年の夏は太平洋高気圧は弱まりますがチベット高気圧が強まり、また地球温暖化やラニーニャ現象の影響も残っているため、暑い夏になるほか雨量も増える可能性があるようです。そして台風にも影響があるようです。エルニーニョは太平洋赤道域の海面水温を大きく変えるため、台風の発生一が南東にずれ、寿命も長くなり台風が大型化しやすく、太平洋高気圧の張り出しが弱いいため、日本に大型台風が上陸しやすくなるようで、今年はこれまでとは違った台風シーズンとなる可能性があるようです。世界の気温が地球温暖化により、ここ数年高くなっています。今後数年間はエルニーニョ現象の影響により、世界の平均気温が 2027 年までに産業革命以前の水準を 1.5 度以上上回る可能性があり、海水面の上昇・健康や飲料・水などさまざまな環境に影響を及ぼす可能性があるようです。今後ロータリーとしても環境のためにできる奉仕を今以上に取り組んでいかなければならないと思います。

本日の卓話は、上越地域消防事務組合上越南消防署長消防司令長 加藤良文様です。演題は、「伝統を受け継ぎ 未来を守る」です。ご清聴お願いします。

出席報告

出席率 100%

メイクアップ

大谷光夫君・本山秀樹君・高橋正彦君・飯塚宏佳君・橋本眞孝君・橋詰敏一君・山田 守君・大島 誠君・中田 正君・遠藤 巖君・石倉 悟・齋藤尚明君・細野 仁君・高坂光一君・箕輪賢一君・吉田 巧君  
(5/13-14 米沢上杉 RC 創立 60 周年記念式典)

退会の挨拶

伴 長門君



## 委員会報告

吉田次期幹事：5/20 地区研修協議会についてのお願い

## 会員インフォメーション

大島 誠君：5/24 伴長門君送別会について

高橋会長：5/25 福田聖君叙勲祝賀会について

## 幹事報告

配布物：会報No.33

回覧物：米沢上杉 RC 創立 60 周年お礼状・さかきん  
発酵鍋を楽しむ会チラシ

報告：ポリオプラスソサエティ登録申込について

## 6月の例会プログラム

例会日	プログラム	会場
6月2日	卓話 株式会社ひだなん 代表取締役 炭田秀昭 様 演題 山登りが教えてくれたもの	デュオ・セレッソ
6月9日	クラブ協議会 1	デュオ・セレッソ
6月16日	クラブ協議会 2	デュオ・セレッソ
6月23日	卓話 小林古径記念美術館 学芸員 市川高子様 演題 未定	デュオ・セレッソ
6月30日	最終例会	デュオ・セレッソ

## 卓話

## 「伝統を受け継ぎ 未来を守る」



上越地域消防事務組合 上越南消防署長 消防司令長 加藤 良文様

- 上越地域消防事務組合は、上越市及び妙高市の2市で構成され、人口約21万5千人、面積1,420km<sup>2</sup>の管内において1局6署2分遣所・職員定数312人・車両数59台で消防業務に当たっている。令和2年3月の新庁舎完成を機に組織改編を行い、体制の強化を図るとともに、昨年は組合発足50周年を迎え、新たな歴史を紡ぐスタートに立った。時代の進展や社会情勢の変化が急速に加速している現在、当局は様々な課題に対し、市民の安全を最優先とした消防行政を展開している。
- 平成23年の東日本大震災により発生した石油コンビナート等特別防災区域における同時多発火災は、長期にわたって国民生活に深刻な影響を与えた。平成30年、総務省消防庁はこの火災を教訓に、石油コンビナート・化学プラント等のエネルギー・産業基盤の被災に備え、緊急消防援助隊に新たに特殊災害の対応に特化した部隊として「ドラゴンハイパー・コマンドユニット（エネルギー・産業基盤災害即応部隊）」を全国12か所に編成した。このうち、日本海側唯一の配備消防本部として当局が選定され、平成31年に「高度化学消防隊」を発足し、管内外の石油コンビナート災害に対する体制を強化した。
- また、令和2年には予防体制の強化と違反是正の徹底を図るため「消防査察隊」を創設、火災予防から違反是正、火災対応に至る一連の体制を強化した。特に人命危険に直結する重大違反に対しては、専門的知識を持った隊員が短時間で適切な査察を行い、即応・機動的に展開する体制を整えた。
- 伝統を尊び過去を学ぶ中にも、挑戦と創造の精神をもって新たな時代を切り開くという職員の自覚・気概の共有、組織としての一体感が最も大切であると考えている。これからも職員一丸となって「地域住民の信頼と期待に応える力強い消防」を目指し、上越地域の安全・安心を揺るぎないものにしていく。

